

# 全国トレイルメンテナンスシンポジウム in 長野県飯山市

## イベント開催概要

### ■ 開催の目的

日本国内には数えきれないほど多くの登山道や自然歩道が存在します。また近年は、歩く旅を楽しむための「ロングトレイル」が各地に整備されるようになり、国内外から訪れる多くの人々に親しまれています。これらの道は、それぞれの地域や団体によって維持管理されていますが、様々な課題にも直面しています。自然環境への負荷、次世代の担い手不足や資金調達、トレイル整備ノウハウや技術者の不足等、次世代につなぐ登山道やトレイルであり続けるためには、解決しなければならない課題が多く存在します。

コロナ禍を経てアウトドア活動に親しむ人が増加し、自然志向や環境問題に対する意識が高まりつつある昨今、トレイル/登山道利用者がハイキングや山登りを楽しむことに加え、その道の整備活動についても関心を向ける傾向が国内でも見られるようになってきました。

そこで、国内外からトレイル(自然歩道)の整備に造詣の深い有識者を招き、整備活動経験者や一般参加者を交え、持続可能なトレイルメンテナンスについて情報を共有し、交流・ネットワーキングを促進し、今ある課題と将来的なトレイルの整備の在り方について一緒に考え、今後再考の機会や提言等を得るきっかけとするためのシンポジウムを開催いたします。

(このイベントは、公益社団法人国土緑化推進機構による「緑と水の森林ファンド」および一般社団法人コンサベーション・アライアンス・ジャパンによる「アウトドア環境保護基金」の助成を受けて実施します。)

■ 主催 NPO 法人信越トレイルクラブ

■ 後援 環境省信越自然環境事務所、林野庁中部森林管理局、林野庁関東森林管理局、長野県、新潟県、一般社団法人コンサベーション・アライアンス・ジャパン、Leave No Trace Japan、株式会社ゴールドウイン、THE NORTH FACE、KEEN、eno、MiiR、YAMAP、日本トレッキング協会、日本ロングトレイル協会、信濃毎日新聞社、新潟日報社、信越トレイル連絡会

■ 開催日 令和5年11月17日(金)、18日(土)

■ 開催場所 長野県飯山市

### ■ 企画概要

#### 11月17日(金): セッションの日 @飯山市文化交流館なちゅら

時間: 14時00分～19時30分

#### 内容: ① 基調講演「100年続くトレイルが未来にもたらずもの」

講演者: Sarah Adams 氏(ATC 南部地域マネージャー、ジョージア～ナンタハラ担当)

世界的人気を誇り100年以上の歴史を持つ、米国アパラチアントレイル=AT。3500kmにおよぶロングトレイルをいかに維持管理し、次世代へどう紡ぐのか。ATの統括本部であるAppalachian Trail Conservancy(ATC)から、故加藤則芳との縁も深いAdams氏を招き、国や企業との連携や沿線地域との関り方等、ATCの活動事例を交えながらお話しいただきます。

## ②信越トレイルクラブの取り組み紹介(事務局より)

自然環境の保全の利用の両立を理念に掲げて、2004年より活動がスタートした信越トレイル。現在もなお、多くのボランティアの方々によるトレイルメンテナンスが行われています。その20年にわたる取り組みについて紹介します。

## ③パネルディスカッション

### 「今求められるトレイルメンテナンスの在り方とは？」

ファシリテーター: 三浦務氏(CAJ 代表理事)

パネラー: Matt Drury 氏 (ATC サイエンス&スチュワードシップ 副部長)

岡崎哲三氏 (一般社団法人大雪山・山守隊、合同会社北海道山岳整備代表)

伊藤圭氏 (三俣山荘事務所、三俣山荘・水晶小屋 経営者)

木村宏 (NPO 法人信越トレイルクラブ 代表理事)

持続可能かつ環境負荷のより少ないトレイル整備とは？ 一般参加者が積極的に関わるトレイル整備とは？ 各地で活動を牽引するリーダーたちが、それぞれの道を維持管理する活動において抱える課題や今後の展望について、多角的に、赤裸々に議論。日本のトレイルメンテナンスのこれからに光を当てます。

## ④交流・意見交換会(立食パーティ)

登壇者・整備関連団体関係者・各自治体関係者・一般参加者が一堂に会し、**持続可能なトレイル/登山道整備**について闊達な意見交換を行う場として、また国内のトレイル/登山道整備関連団体同士の交流・ネットワーキングを促進することを目的とした、立食形式の交流会です。

## 11月18日(土): ワークの日 @なべくら高原・森の家

時間: 9時00分～16時00分

### 内容: ■ 午前の部…ワークショップ: 8:30～12:00

#### 「トレイルを未来へどう渡すか - メンテナンス技術の考察」

ATCのMatt Drury氏と、大雪山・山守隊の岡崎哲三氏によるイントロダクション。トレイル/登山道の現場に見る課題とそれを解決するメンテナンス技術や手法について、自然環境の利用と保全の観点から、日米両国のエキスパートお二人に事例紹介をいただきます。

講話の後にはフィールドでの路体観察を含めたワークショップ\*を行い、トレイル/登山道を持続可能な形で次世代へ引き継ぐためのメンテナンス技術について、皆で一緒に考えます。※天候等の条件により、室内での実施となる場合があります。

### ■ 午後の部…フィールドワーク: 13:30～16:00

#### 「長距離ハイクで欠かせない山トイレテクニック by LNTJ」

ロングトレイルを歩くときに誰しもが直面する「山でのトイレ」。自然にできるだけ負荷を与えずに用を足す方法を学びながら、自然環境の保全を考えます。

※このフィールドワークはLeave No Trace Japan主催の「ホットスポットプログラム」として実施します。